



小林市立永久津小学校 校長通信

令和7年4月10日 第62号 (文責 校長 吉井秀一)

TEL: (0984) 23-3515 E-mail:nagakutukko@miyazaki-c.ed.jp

べんきょうの神さま

このたび前任の湯川校長先生に代わり着任しました吉井秀一(よいしいゆういち)と申します。この通信は、校長が感じていることや一緒に考えていただきたいことなどを保護者や地域の皆さんに伝えることを目的に、月一回程度発行するものです。学校の様子や必要な連絡は、学校のホームページや安心メールを通して行いますので合わせてごらんください。さて、この通信の名称ですが、校歌の歌詞にもある「時計台」を選びました。校舎の時計台も印象的ですが、きつと学校の歴史と深い関係があります? (これから調べます) シンボルとするのにふさわしいと考えたからです。これから、時計台の下で子どもたちと一緒に大切な時を刻みながら、みなさんから信頼される学校づくりを目指してまいります。

4月2日。職員室では新しい先生方も交えて、子どもたちへの指導について話し合いました。そこで話題になったのは、授業の時のあいさつです。1分前に着席。目を閉じて黙想。その後当番さんが「これから〇〇の学習を始めます!」(全員で)「お願いします!」ここで話題になったのは、この「お願いします!」です。『「お願いします!」と言うことには違和感を感じる人はいないかな?』

私が余計なことを口走ったせいで、話し合いが止まってしまいました。『「お願いします!」って、だれにお願いするの?自分たちで学習する態度を育てようとしているのに、まさか「先生に」をお願いします。』ではおかしいよね? でも、何の活動でもあいさつを身に付けさせることは大事だし…。

この議論の後、私は「もっと一年生にも分かりやすく伝えられないかなあ…」と考えました。そこで思いついたのが「べんきょうの神さま」です。「みんなで勉強する場所には『べんきょうの神さま』がいるんだよ。『これから習うことがよく分かりますように。』『みんなと楽しく勉強できますように。』…って、みんなのお願いを聞いてくれるんだ。だから、始めに「お願いします。」「終わりは「ありがとうございます。』ってべんきょうの神さまに挨拶するんだよ。」…さて、今の子どもたちに通用するかどうか。先生方は、挨拶一つのことにも真剣に議論しています。学校で大切なことをしっかりと学んでくれるようにとの強い思いをもっています。どうぞ、そんな思いを受け止めていただき、子どもたちの笑顔のために、これからの教育活動に御協力をお願いいたします。

「学校の目標」 本年度の「学校経営構想」について、学校ホームページに掲載しましたのでご確認ください。また、学校づくりについて校長のメッセージも併せて載せておりますのでお読みいただきたいと思います。

「学校近況スナップ」

学校の周りの道路がきれいになりました。



見通しもよく大変明るくなりました。

その分、いっそう交通安全には気を付けましょう。



今年も小林市地域婦人連絡協議会の皆様から、新入生の安全のための手作りのお守り（キーホルダー）をいただきました。ありがとうございます。

※ お願い

永久津小学校と「時計台」の関係？

御存じの方がおられましたら校長までご連絡ください。

学校 0984-23-3515